

平成28年度 北海道園芸研究談話会 研究発表会プログラム

平成28年12月5日 於 北海道大学 学術交流会館

午前の部

開始時間	第1会場(小講堂)	第2会場(第一会議室)
9:30	座長 高濱雅幹(道総研道南農試) 野菜-1 低温がサツマイモ塊根に与える影響 ○荒木健吾・大道雅之(拓大道短大)	座長 嘉見大助(農研機構北農研) 果樹-1 ハスカップ果実外部形質の発育および成熟に伴う変化ならびに系統間差 ○水沼良徳・堀川謙太郎・実山 豊・志村華子・鈴木 卓(北大院農)
	野菜-2 サツマイモ生育期の茎葉処理が収量に与える影響 ○多田真樹・大道雅之(拓大道短大)	果樹-2 北海道のバラ属野生種および交配種果実のビタミンC含量と抗酸化活性値における差異 ○長田亜梨沙1・鶴飼光子2・脇田陽一3・堀川謙太郎1・実山 豊1・志村華子1・鈴木 卓1(1. 北大院農、2. 道教大函館、3. 道総研林試)
	野菜-3 サツマイモの直立植えの植込み節数が収量に与える影響 ○山田 翔・大道雅之(拓大道短大)	果樹-3 質量分析イメージング技術を用いたリンゴ果肉組織の糖質分布解析 ○堀川謙太郎・平間琢也・志村華子・実山 豊・鈴木 卓(北大院農)
10:15	座長 大道雅之(拓大道短大) 野菜-4 サツマイモ切り育苗苗の 栽植および採苗条件が苗生産に及ぼす影響 ○高濱雅幹1・野田智昭2・植野玲一郎2・宗形信也3・大久保進一4・尾崎洋人1・中住晴彦1(1. 道総研道南農試、2. 道総研花野菜技術セ、3. 道総研中央農試、4. 道総研農研本部)	座長 志村華子(北大院農) 花き-1 炭酸ガスおよび5-アミノレブリン酸含有肥料の併用がスターチス・シヌアータの初期生育に及ぼす影響 ○森 志郎・千野浩輝(酪農大)
	野菜-5 栽植密度および切りも重がナガイモ‘とちかち太郎’の収量およびいも形状に及ぼす影響 ○八木亮治1・田縁勝洋2・平井 剛1(1. 道総研十勝農試、2. 道総研花野菜技セ)	野菜-19 比布町の厳冬期無加温パイプハウスにおける多重フィルム被覆の保温効果地子 立(道総研上川農試)
10:45	野菜-6 ナガイモにおける種いもの切り方および催芽条件の違いが不定芽形成および根部肥大に及ぼす影響 ○山田徳洋1・長濱恵2(1. 十勝農試技術普及室、2. 道総研十勝農試)	野菜-20 湛液型簡易養液栽培における培地の種類がリーフレタスの生育に及ぼす影響 大久保進一1・高濱雅幹2・日笠裕治2・尾崎洋人2・中住晴彦2(1. 道総研農研本部、2. 道総研道南農試)
11:00	座長 木村文彦(道総研花野菜技セ) 野菜-7 生育時期別に負荷した水ストレスが加工用トマトの収量形質に及ぼす影響 ○市木彩音・志村華子・鈴木 卓・実山 豊(北大院農)	座長 地子 立(道総研上川農試) 野菜-21 北海道の露地栽培に適するアスパラガスの新品種 ○曾 傑1・熊野貴宏2・藤井賢彦3・荒木 肇4(1. 北大院環境、2. ベジュー・ジャパン(株)、3. 北大院地球環境、4. 北大北方生物圏セ)
	野菜-8 トマトの新発生害虫ウロコタマバエの発生生態 ○馬着治子1・齊藤美樹2・橋本直樹2・斯波 肇3・岩崎暁生2(1. 後志農大北後志、2. 道総研中央農試、3. 農研本部技術普及室)	野菜-22 伏せ込み促成栽培におけるグリーンアスパラガス新品種の特性評価 ○午来 博1・園田高広2・荒木 肇3(1. 美幌みらい農業セ、2. 酪農大、3. 北大北方生物圏セ)
11:30	野菜-9 ヘアリーベッチを利用した加工用トマト生産体系の確立 ○瀬沢 瑛1・荒木 肇2(1. 北大院環境、2. 北大北方生物圏セ)	野菜-23 露地立茎栽培におけるアスパラガス新品種の特性評価 (第1報)定植3年目までの特性評価 ○藤原瑞貴・園田高広・大谷恭伸(酪農大)
11:45	野菜-10 ハウス内の土壌特性とトマト収量に及ぼすヘアリーベッチと堆肥の影響 ○Muchanga A.Rafael1・荒木 肇2(1. 北大院環境、2. 北大北方生物圏セ)	野菜-24 北海道のアスパラガス半促成栽培における褐斑病の発生生態 ○吉田汐里1・園田高広1・北藤雪子2・児玉不二雄3(1. 酪農大、2. JAびばい、3. (一社)北海道植防)
12:05~12:35 総会		

午後の部

開始時間	第1会場(小講堂)
	座長 八木亮治(道総研十勝農試)
13:30	野菜-11 LED補光および光波長交換フィルム下でハウス栽培した夏秋どりイチゴの生育および収量 ○渡辺彩香・山口徹朗・志村華子・実山 豊・鈴木 卓(北大院農)
13:45	野菜-12 種子繁殖型イチゴ‘よつぼし’の北海道における夏秋どり栽培の可能性(第2報)収量確保に向けた育苗方法および長日処理の検討 ○木村文彦・山田雅之・柳田大介・黒島 学・鳥越昌隆(道総研花野菜技セ)
	座長 杉戸智子(農研機構北農研)
14:00	野菜-13 ビタミンC前駆体処理が及ぼすビタミンC蓄積とウイルス感染への影響 ○武井俊大・鈴木 卓・実山 豊・志村華子(北大院農)
14:15	野菜-14 深川市におけるラッカセイの品種比較 ○須田和雅・大道雅之(拓大道短大)
14:30	野菜-15 北海道におけるキノア栽培の可能性 ○中田真一郎・大道雅之(拓大道短大)
	座長 実山 豊(北大院農)
14:45	野菜-16 タマネギのネギハモグリバエ加害実態に関する調査研究 ○池田 信1・柳田大介2・佐々木純2・荻野瑠衣3(1. 花野菜技セ技術普及室、2. 道総研花野菜技セ、3. 道総研中央農試)
15:00	野菜-17 リン酸直下施肥によるタマネギ直播栽培での不織布べたがけが欠株率および生育・収量に及ぼす影響 ○杉戸智子、林 怜史、中村卓司(農研機構北農研)
15:15	野菜-18 北海道の自然気象下におけるタマネギ小球形成要因の解析 ○柳澤夏穂1・室 崇人2・嘉見 大助2・杉山慶太2・荒木 肇3(1. 北大農、2. 農研機構北農研、3. 北大北方生物圏セ)

注)○印は演者を示します。

発表時間は1課題当たり15分(発表12分、質疑3分)です。

発表開始後、10分で1鈴、12分で2鈴、15分で3鈴を鳴らしますので、演者は参考にしてください。

講演は15時30分に終了予定。

講演内容の、カメラ・ビデオ等による撮影は禁止します。

会場使用の都合上、第1会場と第2会場が例年とは逆になっています。